

## 1 学校教育目標

人間尊重の精神を基本とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の三項目を教育目標とする。

- 思いやりのある子…自分に自信をもち、友だちを大切にできる子
- よく考える子…めあてをもち、意欲的に学習する子
- たくましい子…あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

|         |   |
|---------|---|
| ○学校像    | ○子供が学びたくなる、明るく楽しい学校<br>○保護者や地域の方が通わせたい学校<br>○教職員が協働し、充実感と誇りのもてる学校   |
| ○児童・生徒像 | ○自分に自信をもち、友だちを大切にできる子<br>○めあてをもち、意欲的に学習する子<br>○あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子  |
| ○教師像    | ○信頼し合い、認め合い、協力して指導に取り組む教師<br>○授業力向上のために、努力を惜しまない教師<br>○児童一人一人を大切にし、確かな人権感覚を身につけた教師<br>○保護者や地域の思いや願いを受け止め、学校教育に生かす努力を惜しまない教師 |

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

○学校の現状について

・全校児童は514名。新1年87名が入学。17学級。特別支援教室に30名の児童が入室している。教職経験10年目未満の教職員が62.5%(内5年目まで25.0%)を占めている。常に共通理解のもと同一步調で統一した指導に努めている。経験豊かな先輩教員が増えてきたことにより、若手の教員を丁寧に指導する機会も増えてきている。問題解決型学習を基にした授業力の向上が課題である。PTAやPTAOB会、開かれた学校づくり協議会等、地域の方々に学校に寄せる熱い思いや期待は大きく、また、とても協力的である。児童数の増加に伴い、保護者の学校への思いや期待も変化してきている。本校の歴史と伝統を受け継ぎ、学校・保護者・地域の連携を強化しながら改革を進め、新生「加平の教育」を推進していく。

○前年度の成果と課題

### 重点的な取組事項－1 学力の向上

・区学力調査通過率80%以上を目指してきた。結果通過率は81.1%(4月)で設定目標を達成した。9月再調査通過率5ポイント増を目標に指導を積み重ねた結果10ポイント増の91.1%を達成した。また、国語・算数の基礎的基本的な学力の定着70%以上の児童を85%以上の目標は、国語88.7%、算数92.8%、全体として90.8%で達成できた。達成できていない児童の定着状況をよく把握して、90%以上達成に向けての努力を続ける。

### 重点的な取組事項－2 基本的な生活習慣の確立

・基本的な生活習慣の確立等を目指した取組は成果を上げてきている。特に挨拶については、教員・PTA・協議会委員による挨拶活動に加え、全児童による挨拶活動(通年)も実施し定着を図ってきた。生活リズム向上等の生活習慣の確立に対する取組も少しずつではあるが成果を上げている。生活習慣の確立は、保護者の力なくして達成できない。学校・開かれた学校づくり協議会からの情報発信の方法を工夫し、保護者との協働体制を強化していく。

### 重点的な取組事項－3 体力・運動能力の確実な向上

・年間指導計画に基づき、体育の授業、食育・保健指導を通して児童の体力・運動能力の向上に努めてきた。体育朝会の内容の見直しと計画的な実施、持久走や縄跳び等の取組方法の工夫を図り、保健指導・食育指導についても養護教諭・栄養士と連携した指導を実践してきた。常にPDCA(計画→実践→評価→改善)のサイクルで改善し続けてきたことで成果を上げている。今後も常にPDCAサイクルを大切に、さらに充実に努める。

### 重点的な取組事項－4 豊かな心の育成

・「学校は楽しい」自己評価95.8%で設定目標を達成した。今後も道德教育の充実、たてわり班活動、ふれあい月間、音楽集会・鑑賞教室等による心の教育の充実を図る。また、課外スポーツ活動、かるた・百人一首等の区のイベントに向けての練習や大会・イベントへの参加等、自分の得意なこと・好きなことに取り組める場を設定する。

### 重点的な取組事項－5 幼・保・小・中の充実

・年間計画に基づき、幼・保・小・中の連携の充実に努めた。幼・保・小の連携では、近隣幼稚園・保育園との交流活動や保育参観・意見交流会を通して、小学校への円滑な接続に向けての指導改善に生かすことができた。小中連携では、教科別分科会を中心とした研究授業・協議会を通して、小中の学びの連続性を学び、授業力・指導力の向上に努めた。今後も小中の教員が協働で指導案検討・研究授業を通して、授業力・指導力を高めていく。

| 4 重点的な取組事項 |                |      |    |    |    |    |
|------------|----------------|------|----|----|----|----|
| 番号         | 内容             | 実施期間 |    |    |    |    |
|            |                | 28   | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 1          | 学力の向上          | ◎    | ◎  | ◎  | ◎  | ◎  |
| 2          | 望ましい学習・生活習慣の確立 | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 3          | 体力・運動能力の向上     | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 4          | 豊かな心の育成        |      | ◎  | ◎  | ◎  | ○  |
| 5          | 幼・保・小・中の連携の充実  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  |

## 5 平成30年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1  |  | 学力の向上  |
|---|--|--|
| A 今年度の成果目標  |  | 平成30年度区学力調査<br>目標通過率（学校平均）   |
| 基礎的基本的な学力の定着  |  | ○区学力調査目標値通過率を80%以上に<br>にする。また9月実施の再調査までに<br>国・算数とも各学年5 ポイント以上改<br>善し、通過率85%以上にする。<br>○国語・算数の基礎的基本的な学力の<br>定着70%以上の児童を85%以上にする。 |
| B 前年度の取組み内容   |  |  |
| 項目  | 具体的な方策   |  |
| 基礎的基本的な学力の定着  | ○朝学習（週3回15分間）の実施（国語・計算・漢字等の学習）<br>○放課後補充教室の実施 ・全教員による指導 ・担任による指導<br>○サマースクール10日間実施 ○宿題の提出率調査（年3回）<br>○そだち指導の充実（3・4年） |  |
| 授業力の向上  | ○1単位時間の授業観察と指導・助言（年2回以上）<br>○日常的授業観察と指導・助言 ○足立スタンダードの徹底<br>○校内若手研修（主任教諭が主に指導）  |  |
| 家庭学習の習慣の定着  | ○目標時間に応じた課題、宿題の提示<br>○教師による家庭学習の確認の徹底<br>○家庭学習のてびき等で保護者へ啓発<br>○家庭学習実施状況調査（年3回）                                       |  |
| 学力の定着状況の把握  | ○SP表の分析、改善策立案・実施、評価の実施（年3回）<br>○課題に応じた指導法指導形態の改善<br>○学力ポートフォリオを基に、個に応じた指導の充実   |  |
| C 前年度の成果と課題   |  |  |
| ○基礎的基本的な学力の定着<br>・基礎的基本的な内容の定着が70%以上の児童90.8%で目標を達成した。さらに指導改善・個に応じた指導に努め、70点以上の児童90%以上の維持・向上を目指す。朝学習・土曜授業・補充教室・夏季補充教室の実施体制や方法を改善し、学力向上に努めた。宿題の提出率は、93.5%で目標を達成した。保護者との連携を強め提出率90%以上を維持・向上を目指す。 |  |  |
| ○教師の授業力の向上<br>・OJT、管理職による授業観察、教科指導専門員による指導等により授業力は向上してきた。今後も「足立スタンダード」に基づいた授業の定着と充実を図っていく。また若手教員を対象とした研修資料を作成・配布し、全教職員に指導してきた。今後は若手研修会の内容を見直し、より充実した研修を実施していく。                                |  |  |
| ○家庭学習の習慣の定着<br>・家庭学習定着率は86.7%で設定目標を達成できなかった。「家庭学習のてびき」を活用し、児童への指導とともに家庭との連携を強化し90%以上の定着率を目指す。個別指導により家庭学習への意識を高める。   |  |  |
| ○学力の定着状況の把握<br>・区学力調査目標値通過率81.1%で設定目標を達成することができた。4月に結果分析を行い、改善策を作成し授業・補充教室等で実践してきた。9月の再調査91.1%、12月の再調査で92.5%と設定目標を達成できた。さらに通過率向上のため、児童一人一人の実態に応じた指導を充実させ、日々の授業改善、補充教室等の補充体制、指導内容等を見直していく。     |  |  |

| D 今年度の目標実現に向けた取組み                  |      |        |
|------------------------------------|------|--------|
| 項目                                 | 達成基準 | 具体的な方策 |
| 別紙<br>「平成 30 年度<br>学力向上アクションプラン」参照 |      |        |
|                                    |      |        |
|                                    |      |        |

|                   |                |
|-------------------|----------------|
| <b>重点的な取組事項－2</b> | 望ましい学習・生活習慣の確立 |
|-------------------|----------------|

| A 今年度の成果目標     |  | 達成基準  |
|----------------|--|---|
| 望ましい学習・生活習慣の確立 |  | 進んで挨拶 80%以上 早寝 70%以上<br>早起き 90%以上 朝食摂食率 95%以上<br>学習状況満足度 85%以上  |
| B 目標実現に向けた取組み  |  |   |
| 項目             | 達成基準   | 具体的な方策  |
| 進んで挨拶          | ○挨拶できる:90%以上<br>○進んで挨拶できる:80%以上                        | ○児童による挨拶活動実施(通年)<br>○PTA・開かれた学校づくり協議会による挨拶活動実施(年2回)<br>○学級指導・道徳授業の充実。<br>・挨拶・返事の指導の徹底(毎日)<br>○学校関係者による評価実施(年3回) |
| 生活習慣の定着        | ○早起き:90%以上<br>早寝:70%以上<br>朝ご飯:95%以上<br>ゲーム・テレビ視聴:80%以上 | ○生活習慣強化週間の設定(年3回)<br>○保護者会・個人面談・学校だより等で保護者を啓発   |
| 意欲的な学習         | ○学習状況満足度:85%以上   | ○学習状況満足度調査実施(年3回)<br>○調べ学習で学校図書館・パソコン室活用<br>・活用実績調査実施(年2回)  |

|                   |               |
|-------------------|---------------|
| <b>重点的な取組事項－3</b> | 体力・運動能力の確実な向上 |
|-------------------|---------------|

| A 今年度の成果目標    |  | 達成基準  |
|---------------|--|---|
| 体力・運動能力の確実な向上 |  | ○東京都体力・運動能力調査で、全種目で全国平均値に近づける。<br>○1日1時間以上外遊び・運動する児童 85%以上。   |
| B 目標実現に向けた取組み |  |   |
| 項目            | 達成基準   | 具体的な方策  |
| 体育科の指導技術の向上   | ○校内研修会実施(年2回)                                  | ○体育主任を中心にした体育部や外部講師等を活用した研修会の実施   |
| 体育的活動の充実      | ○縄跳び:全員自己目標達成<br>○持久走:全員自己目標達成<br>○体育朝会年7回以上実施 | ○縄跳び・持久走の取組、体育朝会の計画的な実施と実施方法の工夫・改善<br>○加平ギネス(歴代高記録)を掲示  |
| 遊びや運動の日常化     | ○外遊び・運動:85%以上                                  | ○外遊び・運動時間調査(年3回)<br>○ロングの外遊びの実施(月1回)  |
| 食育・保健指導の充実    | ○食育・保健に関する授業<br>各学年2回以上実施                      | ○担任と養護教諭・栄養士の連携授業<br>・保健授業(3年以上各1回以上)<br>・食育指導(各学年1回)<br>○発育測定時の保健指導実施<br>○歯みがき指導の実施<br>・養護教諭による(2年以上各1回)<br>・歯科衛生士との連携による(1年1回)<br>○ランチルーム給食時の食育指導実施<br>・栄養士による(36回以上) |

| 重点的な取組事項－4       |  | 豊かな心の育む  |
|------------------|--|--|
| A 今年度の成果目標       |  | 達成基準   |
| 自己肯定感・思いやりの心を育てる |  | ○児童・保護者・地域のアンケートで「楽しく学校生活を送っている」90%以上                                      |
| B 目標実現に向けた取組み    |  |  |
| 項目               | 達成基準                                     | 具体的な方策   |
| 自己肯定感の向上         | ○楽しく学校生活を送っている学校が楽しい<br>90%以上            | ○ふれあい月間の取組(年3回)<br>○道徳授業の充実<br>「思いやり・親切」「人権尊重」での公開授業実施(年1回)<br>○全校朝会で活躍の賞讃 |
| 思いやりの心の育む        | ○異学年活動や児童会活動は楽しい<br>90%以上                | ○全校遠足(年1回)<br>○縦割り班遊び実施(年5回)<br>○クリーン作戦実施(年1回)<br>○人権メッセージ等人権尊重の取組         |
| 読書や歌に親しみ、豊かな心を育む | ○進んで読書をする<br>80%以上<br>歌をしっかりと歌う<br>80%以上 | ○読書タイム実施(10分間 週5回)<br>○読書旬間実施(年3回)<br>○音楽朝会実施(年8回)<br>○音楽鑑賞教室実施(年1回)       |

| 重点的な取組事項－5    |                                | 幼・保・小中の連携の充実                                   |
|---------------|--------------------------------|--|
| A 今年度の成果目標    |                                | 達成基準   |
| 幼・保・小・中の連携の充実 |                                | 指導案検討会・研究授業、幼児・児童・生徒の情報交換会、交流研修等 年8回以上         |
| B 目標実現に向けた取組み |                                |  |
| 項目            | 達成基準                           | 具体的な方策   |
| 教員の交流研修       | ○近隣保育園との交流研修、<br>○保育参観(全教職員参加) | ○近隣の保育園との交流研修<br>○全教職員による公開保育参観                |
| 児童、園児の交流      | ○1年生が交流活動を実施<br>○行事への招待        | ○園児の給食体験と1年生との交流活動<br>○行事への招待                  |
| 小中連携研修        | ○課題解決型授業展開の充実を目的とした研究会実施(年7回)  | ○研究授業 各分科会<br>・指導案検討(年3回)<br>・講師を招聘した研究授業(年3回) |
| 児童の中学校体験活動    | ○中学校体験活動(年2回)                  | ○児童の授業体験、部活動見学実施                               |